

講義名：国際法A <春> 曜時1：火3 担当教員名：軽部 恵子	ナンバリングコード：LAW2500 曜時2：		
研究室：聖アンデレ館10階1022号室	オフィスアワー：火曜日16時45分～17時30分、金曜日16時45分～17時30分	メールアドレス：	
授業形態			
『講義』 『アクティブラーニング』			
講義・演習概要			
<p>この講義は、国際法の基礎知識を学びます。具体的には、近代国際法が誕生した歴史、国際法の重要原則、国際法の最も重要な主体である国際法上の国家を取り上げます。国際法がわかると、新聞やテレビの国際ニュースがわかるようになります。それは、国際法が国家の行動を規律する世界共通のルールだからです。この講義の第2回から第4回は国際機構論Aおよび地域研究1Aの一部と似ていますが、国際法の視点から考えていきます。講義冒頭には、国内外のメディアのホームページを用いて、メディア・リテラシーも学びます。</p>			
学習(到達)目標			
①国際社会が成立する歴史的過程(とくに大航海時代以降)を理解する。 ②国際法の基礎知識、とくに国家主権・管轄権・領域に関するものを修得する。 ③国際問題の理解に必要な一般教養、とくに歴史・地理・文化・宗教を修得する。 ④メディア・リテラシーを身につける。			
講義・演習計画			
【第1回】 国際法とは何か			
【第2回】 戦争と平和の法(1) 大航海時代、宗教改革、三十年戦争			
【第3回】 戦争と平和の法(2) フランス革命とナポレオン戦争			
【第4回】 戦争と平和の法(3) ハーグ平和会議と赤十字国際委員会の設立			
【第5回】 国際法の基本原則			
【第6回】 国家(1) 国際法上の国家			
【第7回】 国家(2) 属地主義と国籍主義			
【第8回】 国家(3) 犯罪人引渡し			
【第9回】 国家(4) 領域の得喪			
【第10回】 国家(5) 領土紛争			
【第11回】 国家(6) 海洋法① 無害通航権			
【第12回】 国家(7) 海洋法② 通過通航権			
【第13回】 国家(8) 海洋法③ 排他的経済水域、公海、深海底			
【第14回】 国家(9) 領空と宇宙空間			
【第15回】 まとめ、期末試験			
成績評価の方法			
試験	100%	レポート	その他
コメント	試験3回(25%、25%、50%)で決定します。最初の2回は抜き打ちで行います。詳細は第1回授業で発表します。		
テキスト			
著書	編集代表 岩沢雄司他	タイトル	国際条約集2021
ISBN		出版社	有斐閣
教科書購入区分	大学オンライン販売	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
加藤信行他『ビジュアルテキスト国際法』第2版、有斐閣、2020年 芹田健太郎『新ブックス国際法入門』信山社、2020年 大沼保昭『国際法』筑摩書房、2018年 浅田正彦『国際法』第4版、東信堂、2019年 中谷和弘『国際法』第3版、有斐閣、2016年 薬師寺公夫他『判例国際法』第3版、東信堂、2019年 小川浩之他『国際政治史：主権国家体系のあゆみ』有斐閣、2018年			
事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間・事後学習 30 時間)			
毎回の授業で指示される参考文献や参考URLをもとに、事前および事後学習をしてください。			
その他備考(担当教員用)			
教科書は毎回使います。試験問題の一部は、教科書を用いて解答する形式です。			
キーワード			
国際法、国家主権、領域、世界史			
備考(管理者用)			
(旧：国際法)02～19E・SS・SW・B・L・J			